

2024年2月 東京地区百貨店売上高概況

2024年3月25日

I. 概況

1. 売上高総額	1,317億円余
2. 前年同月比(増減率)	18.5%(30か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭19.9%(91.4%)：非店頭5.3%(8.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2024年1月対比±0店)
5. 総店舗面積	742,668㎡ (前年同月比：+2.0%)
6. 総従業員数	13,557人 (前年同月比：-5.4%)
7. 3か月移動平均値	7-9月 9.6%、8-10月 8.1%、9-11月 8.1%、 10-12月 7.8%、11-1月 7.4%、12-2月 9.7%

[参考] 2023年2月の売上高増減率は20.4%

【特徴】

2月の東京地区は、売上高18.5%増(30か月連続)、入店客数11.7%増(14か月連続)と、共に二桁の伸びを示した。春節商戦が活況だったインバウンドが高伸したほか、各社企画のバレンタイン催事が奏功したことに加え、閏年による営業日数増もプラス要因となった。2019年比でも13.1%増とコロナ前の水準を大きく上回った。

商品別では、主要5品目の内、家庭用品を除く4品目でプラスとなった。主力の衣料品(20.8%増/29か月連続)は、月前半と後半の寒暖差により、前半はコート等重衣料に動きが見られ、後半は気温上昇で春物衣料が牽引した。卒入学等のオケーションニーズやビジネスの買い替え需要でジャケットやパンツ、ワンピース等のアイテムも好調に推移した。

身のまわり品(29.3%増/30か月連続)は、引き続きラグジュアリーブランドの高伸に加え、インバウンド需要がそれを押し上げる形で3割増となった。買い替えや春のお出かけニーズからバッグやパンプスも好調に推移した。雑貨(28.8%増/30か月連続)は、化粧品が国内外共に伸長しており、アイテム全般に動きが見られたほか、時計が好調で美術・宝飾・貴金属が32.4%増(9か月連続)と高伸した。

食料品(4.1%増/2か月連続)は、手土産需要から菓子の好調が続いているほか、バレンタインは自家需要が増加し、イートインや限定品も人気を集めるなど、商戦全体で大きな盛り上がりを見せた。生鮮食品ではインバウンドの高級フルーツの需要増等もあり、青果が好調に推移した。

3月中間段階の商況は、前年比14.5%増(3/18時点)で推移している。2019年比でも17.3%増と好調を維持している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 28.7日(前年同月比 +0.9日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
 - ①増加した：18店、②変化なし：0店、③減少した：0店
- (3) 2月歳時記(節分、バレンタインデー)の売上(同上/有効回答数12店舗)
 - ①増加した：6店、②変化なし：6店、③減少した：0店

東京地区百貨店 売上高速報 2024年2月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	131,755,841	100.0	18.5
紳士服・洋品	8,519,636	6.5	15.4
婦人服・洋品	21,263,535	16.1	25.4
子供服・洋品	2,425,796	1.8	10.6
その他衣料品	1,274,189	1.0	8.7
衣 料 品	33,483,156	25.4	20.8
身のまわり品	24,095,583	18.3	29.3
化粧品	12,000,812	9.1	30.1
美術・宝飾・貴金属	15,838,252	12.0	32.4
その他雑貨	4,700,185	3.6	15.4
雑 貨	32,539,249	24.7	28.8
家 具	1,244,102	0.9	9.7
家 電	948,461	0.7	-20.2
その他家庭用品	2,765,386	2.1	-5.4
家 庭 用 品	4,957,949	3.8	-5.5
生 鮮 食 品	3,010,634	2.3	7.8
菓 子	11,236,569	8.5	5.4
惣 菜	5,720,453	4.3	4.8
その他食料品	9,286,890	7.0	1.0
食 料 品	29,254,546	22.2	4.1
食 堂 喫 茶	2,292,392	1.7	12.4
サ ー ビ ス	1,965,039	1.5	7.0
そ の 他	3,167,927	2.4	35.8

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,138,612 千円	3.4
従 業 員 数	13,557 人	-5.4
店 舗 面 積	742,668 m ²	2.0

営 業 日 数	28.7 日	前年	27.8 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は家庭用品を除く4品目でプラスとなり、衣料品、身のまわり品、雑貨は二桁増となった。その他の品目は、婦人服・洋品、化粧品が30か月連続、美術・宝飾・貴金属が9か月連続でプラスとなったが、家電が5か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	18.5	—	30か月連続プラス
紳士服・洋品	15.4	1.0	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	25.4	3.9	30か月連続プラス
子供服・洋品	10.6	0.2	20か月連続プラス
その他衣料品	8.7	0.1	3か月ぶりプラス
衣料品	20.8	5.2	29か月連続プラス
身のまわり品	29.3	4.9	30か月連続プラス
化粧品	30.1	2.5	30か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	32.4	3.5	9か月連続プラス*
その他雑貨	15.4	0.6	2か月ぶりプラス*
雑貨	28.8	6.5	30か月連続プラス
家具	9.7	0.1	5か月連続プラス
家電	-20.2	-0.2	5か月連続マイナス
その他家庭用品	-5.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
家庭用品	-5.5	-0.3	3か月ぶりマイナス
生鮮食品	7.8	0.2	5か月連続プラス*
菓子	5.4	0.5	5か月連続プラス*
惣菜	4.8	0.2	2か月連続プラス*
その他食料品	1.0	0.1	12か月ぶりプラス*
食料品	4.1	1.0	2か月連続プラス
食堂喫茶	12.4	0.2	24か月連続プラス
サービス	7.0	0.1	2か月連続プラス
その他	35.8	0.8	13か月連続プラス
商品券	3.4	0.0	12か月ぶりプラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>